

大きな芋がたくさん採れたよ！
～みんなで芋掘りをしました～

文責 南 陽子

棒倒しみたい♪



10月6日(土)に《発達支援事業所 蛭》との交流で芋掘りを計画していました。残念ながら、雨天で交流は中止。そのため翌週8日(月)～12日(金)は芋掘り習慣としました。平日は下校時間が違いバラバラ。ですから、芋掘りの時間は30分ちょっとです。芋掘りの準備をして掘っていくと大きな芋が見えてきました。

「(芋が) かくれんぼしてる！」葉純さん(小1)、芋の周りを掘って芋が立っているのを見て様子を「棒倒しみたい」と蓮斗くん(小4)。顔の近くに持っていき「僕の顔よりおっきい！」と瑠唯くん(小4) いろいろな言葉が出てきます。そこへ武流くん(小4)が帰ってきて「どうしたの？」と車から降りてきました。瑠唯くんが「おっきい芋がたくさんあるよ、武流くん



も来てよ！」始めは迷っていた武流くんも瑠唯くんが誘ってくれたので、掘ってみようかなと思ったようでした。掘ってみると「うわ～でっけ～！」と武流くんのところは、一段と大きな芋が入っていました。剛志くんと悠斗くんは隣通しで芋を掘り、お互いの「ここから掘ればいいんじゃない？」と手伝いながらの協力体制でした。康真くん(小3)は、お

うちの人に持って帰りたいと宿題を終わらせてから参加し、その日に持って帰りました。

劉備くん(小4)は・・・掘っていると虫が出てきて「ぎゃ～僕虫苦手なんだよね。」と言いながらも大きな芋が出てくるとにっこり。このように楽しい芋掘りになりました。掘れた芋はともだちのおやつだけでなく、お家に持って帰りました。その後、13日(土)に、げんきぼ学童交流で焼き芋とふかし芋にして食べ比べをしました。



苗植えから草取り、収穫まで自分たちで育てた芋。秋の収穫は大成功・大豊作に終わりました。

文責 南 陽子

～ひとりで頑張らないで～

先日、利用児童のお母さんから「子供にどう接していいかわからない。」とお電話いただきました。不安を感じているお母さんの様子が電話の声から伝わってきましたので、支援員が自宅に向かい1時間ほど子供を交えてお話ししました。

支援員は子どもの特性を理解し、気持ちに寄り添いながら支援しています。そこで引き出せる子どもの本音を支援員が代弁し、お母さんの思いを子どもに伝えました。するとお互いの距離が少し縮まり、帰る頃には笑顔が見られました。微力ですが、親子の架け橋になれたことは支援員にとっても、嬉しいことです。

我が子の為に、たくさんの知識を持った保護者の方と話をすることで、私達支援員が学ばせてもらう事があります。保護者の方との連携を密にすることで、子どもの成長がさらに大きいものになると思います。

小さなことでも構いません。子育てで悩んだり困ったときは、お電話・お帳面・ラインなどでお知らせください。ひとりで頑張るすぎないで、一緒に悩んで一緒に解決していきましょう。支援員は、子ども達の支援だけでなく保護者の方のサポートができるように努力していきます。

(西村 真奈美)

★11月の予定★

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 3日 文化の日(祝日) | 10日 曾於市民祭(お小遣い準備をお願いします) |
| 17日 げんきぼ学童交流 | 24日 クッキング(サンマを焼いて・豚汁をつくろう) |